

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業 項：農業費 目：農業振興費

事業名 新農業の気候変動適応プロジェクト（任意・単建）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

農政部 農政課 農業研究推進係 電話番号：058-272-1111（内 2804）

E-mail：c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,950 千円（前年度予算額：0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,950	0	0	0	0	0	0	0	9,950
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

地球温暖化の進行に伴い、平均気温の上昇だけでなく、真夏日・熱帯夜、局所的豪雨、突風の増加などの気象変動が顕在化している。

農林産業では、気象変動による異常気象の影響を大きく受け、高温障害などが頻発し、経営が不安定となっている。

こうした中、岐阜県地球温暖化実行計画（区域施策編）においては、温暖化の影響への「適応」を進めることとしており、温暖化に対応する技術開発が求められている。

（2）事業内容

温暖化により発生が予測、又は現れ始めている生育障害や病害虫被害を回避する栽培技術、及び気温上昇により栽培可能となる新品目等の研究開発。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	844	調査研究に関わる現地調査、研究会等への移動経費、費用弁償
需用費	5,110	調査研究のための消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費
役務費	66	通信運搬費等
委託料	1,570	共同研究機関に研究を委託する費用
備品購入費	1,997	調査研究のための備品購入費
その他	363	調査研究にかかる使用料、負担金
合計	9,950	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「ぎふ農業・農村基本計画」(R3～R7)では4つの柱「ぎふ農業・農村を支える人材育成」、「安心して身近な『ぎふの食』づくり」、「ぎふ農畜水産物のブランド展開」、「地域資源を活かした農村づくり」を定めている。これに基づく重点施策に「ブランド展開を支える新品目の創出と生産流通技術の開発」が位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

気候変動に対し、国においても農林水産分野では、温室効果ガスの排出削減と吸収による緩和策と、その影響の回避、軽減、利用による適応策が一体的に推進されている。

(3) 後年度の財政負担

技術開発には5年間程度必要であるため、本事業は令和8年度まで実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

本県に特化した品目や技術については、本県で研究開発する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県研究機関が持つシーズと研究資源の総力を結集し、生産者や大学等と連携し、令和8年度までに開発技術の実用化・普及定着を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
技術移転の推進	-			0件	6件	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 地球温暖化に起因すると考えられる気候変動の影響は、農業の現場において、高温障害による農作物の品質の低下や生産量の低下を起し、農業経営を不安定にする要因となっている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 農業において特に顕在化している高温に着目し、短期的または中長期的な視点で適応する技術を開発し、強い産地づくりを推進する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	